

# 定例医療講演会

会場 愛知淑徳大学AHSMEC(アースメック)棟  
1階 健康相談室

参加無料 事前申込み制 (各回45人先着順)

地域の皆さまへ、健康づくりや病気の予防に役立つさまざまな情報を、わかりやすくお伝えしていきます。

2014年度後期日程表 講演予定

講演日・時間	所属・氏名 講演テーマ	申込締切 (必着)
第3回 11/20 13:00~ (木)	手軽にできる 見易くなる工夫 —体験による見え方の理解— 視覚科学専攻 教授 クリニック 視能訓練士 川瀬 芳克	11/13 (木)
第4回 12/5 13:30~ (金)	認知症のコミュニケーション 障害支援のために 言語聴覚学専攻 教授 クリニック 言語聴覚士 鈴木 朋子	11/28 (金)
第5回 12/17 13:30~ (水)	こころを健康的に 成長させるこころの 発達課題について 心理学部 准教授 クリニック 心療内科・精神科 医師 伊藤 真理	12/10 (水)

●愛知淑徳大学健康相談室 0561-56-0077  
(平日10:00~17:00)

※その他詳細は同封のリーフレットをご覧ください。

## 健康豆知識

愛知淑徳大学 健康医療科学部 教授  
愛知淑徳大学健康相談室 室長  
愛知淑徳大学クリニック 糖尿病内科 医師

## 老人の正常値

井口 昭久

健康診断の結果が出る時期になつたが、「お前は正常な老人か?」と問われれば「そうです」とは返答しくい。多くの老人の結果は標準値を外れているからである。

人の寿命を説明するものに「個体乗り物説」というのがある。

人は発生期→成長期→生殖期はプログラムされている。女性でいえば閉経まではプログラムされているが、それ以降はプログラムされていないとする説である。人は子供を産み、育て終えるまでは遺伝子が引率してくれている。だから年齢による肉体的な差は少ない。そして一定の年齢になるまでは命を保障して

くれる。しかし、それ以降はプログラムがない。「勝手にしなさい」とする説で、プログラム欠如説ともいいう。

血糖や血圧は加齢とともに増加することが知られているが、「個人差が大きくなること」「こそが普遍的で「加齢による正常値」いうのは見つかっていない。成人になつてしまふと個人の事情が優先されてしまうと個人の事情が優先され制御を受けないからである。

老人をひとまとめにして「そもそも正常な老人というのはこの世の中に存在するのであろうか?」という疑問に誰も答えを出せないでいる。